

1. 科目名 (単位数)	精神保健福祉論 I (2 単位)		3. 科目番号	SCMP2128
2. 授業担当教員	大山 勉			
4. 授業形態	講義、課題の発表	5. 開講学期	秋期	
6. 履修条件・他科目との関係				
7. 講義概要	精神障害者の生活支援の意義と特徴及び精神障害者の居住支援に関する制度・施策と相談援助活動について理解する。加えて、職業リハビリテーションの概念及び精神障害者の就労支援に関する制度・施策と相談援助活動(その他の日中活動 支援を含む)、行政機関における精神保健福祉士の相談援助活動について理解することを目的とする。			
8. 学習目標	以下について理解し、説明できるようになることを求める。 ① 精神障害者の概念について理解する ② 精神障害者の生活の実際について理解する ③ 精神障害者の生活と人権について理解する ④ 精神障害者の居住支援について理解する ⑤ 精神障害者の就労支援について理解する ⑥ 精神障害者の生活支援システムについて理解する			
9. アサイメント(宿題)及びレポート課題	割り当てられた範囲について調査及びディスカッションを行い、レポート等を作成・提出及び発表をする。			
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 福祉臨床シリーズ編集委員会 編『精神保健福祉士シリーズ 8 精神障害者の生活支援システム <第3版>』, 弘文堂。 【参考書】 必要に応じて授業の中で通知する。			
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 精神障害者の生活支援の意義と特徴及び精神障害者の居住支援に関する制度・施策と相談援助活動について理解する。加えて、職業リハビリテーションの概念及び精神障害者の就労支援に関する制度・施策と相談援助活動(その他の日中活動 支援を含む)、行政機関における精神保健福祉士の相談援助活動についての、基礎的、基本的事項を理解し、説明できるか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、課題提出・発表、期末試験を総合して評価する。 1 授業への積極的参加 総合点の30% 2 課題提出・発表 総合点の30% 3 期末試験 総合点の40%			
12. 受講生へのメッセージ	初回授業で受講ルールの詳細を説明する。したがって受講希望者は必ず第1回の授業に出席すること。 精神保健福祉士の倫理・技術等を含むその存在意義は、精神障害のある人たちのためにある。したがって、倫理・技術が単独で存在することはない。つまり、精神障害のある人たちの生活実態や状況を知り、その支援を如何に良いものとしていくかという志向が必要となる。本講義は精神障害のある人たちのおかれた、おかれている状況を理解することから始める。そして受講生諸君が「精神障害がある人たちへの支援が如何にあるべきか」を考える起点としていただきたい。			
13. オフィスアワー	授業の中で通知する。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	オリエンテーション 授業概要について	事前学習	シラバス、教科書の通読	
		事後学習	精神保健福祉とは何かについて調べてくる	
第2回	精神障害者の生活支援とは何か ・精神障害とは ・障害の概念 ・生活支援の意味を考える ・地域生活支援活動の経過と現状 ・今後の課題	事前学習	教科書 pp. 2～13 を読み、精神障害者の生活支援について調べる。	
		事後学習	教科書 pp. 2～13 を読み、精神障害者の生活支援に関する国試過去問を解いて理解を深める。	
第3回	精神障害者の基本的理解—1 ・精神障害者の定義と特性	事前学習	教科書 pp. 16～20 を読み、精神障害者の定義と特性の主な内容について調べる。	
		事後学習	教科書 pp. 16～20 を読み、精神障害者の定義と特性に関する国試過去問を解いて理解を深める。	
第4回	精神障害者の基本的理解—2 ・人間存在としての精神障害者 ・生活者としての精神障害者	事前学習	教科書 pp. 20～29 を読み、生活者としての精神障害者について調べる。	
		事後学習	教科書 pp. 20～29 を読み、生活者としての精神障害者(事例問題等)に関する国試過去問を解いて理解を深める。	
第5回	精神障害者の生活 ・精神障害者の生活実態 ・生活状況の事例 ・精神障害者と家族の関係	事前学習	教科書 pp. 32～52 を読み、精神障害者の生活について調べる。	
		事後学習	教科書 pp. 32～52 を読み、精神障害者の生活(事例問題等)に関する国試過去問を解いて理解を深める。	

第6回	精神障害者の生活と人権—1 ・精神障害のある人の権利をめぐる状況 ・地域生活における精神障害者の人権	事前学習	教科書 pp. 54～65 を読み、精神障害者の生活と人権について調べる。
		事後学習	教科書 pp. 54～65 を読み、精神障害者の生活支援システム（精神障害者の生活と人権）に関する国試過去問を解いて理解を深める。
第7回	精神障害者の生活と人権—2 ・精神保健福祉士に求められる権利擁護の視点と役割 ・精神障害のある人の権利を護るシステム	事前学習	教科書 pp. 66～78 を読み、精神障害者の生活支援システム（精神障害者の生活と人権）について調べる。
		事後学習	教科書 pp. 66～78 を読み、精神障害者の生活支援システム（精神障害者の生活と人権）に関する国試過去問を解いて理解を深める。
第8回	精神障害者の居住支援—1 ・精神障害者にとっての住生活の意味 ・居住支援制度の概要 ・居住支援における専門職の役割と機能	事前学習	教科書 pp. 80～94 を読み、精神障害者の生活支援システム（精神障害者の居住支援）について調べる。
		事後学習	教科書 pp. 80～94 を読み、精神障害者の生活支援システム（精神障害者の居住支援）に関する国試過去問を解いて理解を深める。
第9回	精神障害者の居住支援—2 ・住居支援事例 ・住居支援における近年の動向と課題 ・住居支援の担い手と連携・協働	事前学習	教科書 pp. 94～109 を読み、精神障害者の生活支援システム（精神障害者の居住支援）について調べる。
		事後学習	教科書 pp. 94～109 を読み、精神障害者の生活支援システム（精神障害者の居住支援）に関する国試過去問を解いて理解を深める。
第10回	精神障害者の就労支援—1 ・精神障害者にとっての就労の意味 ・就労支援制度の概要 ・就労支援にかかわる専門機関・専門職の役割と機能	事前学習	教科書 pp. 112～131 を読み、精神障害者の生活支援システム（精神障害者の就労支援）について調べる。
		事後学習	教科書 pp. 112～131 を読み、精神障害者の生活支援システム（精神障害者の就労支援）に関する国試過去問を解いて理解を深める。
第11回	精神障害者の就労支援—2 ・就労支援—連携と支援システムづくり ・就労・雇用支援事例 ・就労支援における近年の動向と課題	事前学習	教科書 pp. 131～144 を読み、精神障害者の生活支援システム（精神障害者の就労支援）について調べる。
		事後学習	教科書 pp. 131～144 を読み、精神障害者の生活支援システム（精神障害者の就労支援）に関する国試過去問を解いて理解を深める。
第12回	地域社会における生活支援システム ・地域支援システム構築の意味 ・精神障害者のピア活動 ・家族の動向 ・地域生活支援事業とは ・医療機関の役割と機能 ・行政機関の役割と機能 ・相談支援の成り立ち ・生活支援づくりの事例 ・ソーシャルサポート・ネットワークの今後の課題	事前学習	教科書 pp. 146～198 を読み、精神障害者の生活支援システム（地域社会における生活支援システム）について調べる。
		事後学習	教科書 pp. 146～198 を読み、精神障害者の生活支援システム（地域社会における生活支援システム）に関する国試過去問を解いて理解を深める。
第13回	行政における相談援助 ・市町村における相談援助の担い手 ・市町村における相談援助の事例 ・広域行政機関 ・広域行政機関における事例	事前学習	教科書 pp. 200～221 を読み、精神障害者の生活支援システム（行政における相談援助）について調べる。
		事後学習	教科書 pp. 200～221 を読み、精神障害者の生活支援システム（行政における相談援助）に関する国試過去問を解いて理解を深める。
第14回	精神障害者と現代社会 ・あたりまえの生活を目指して ・市民として生きる ・ソーシャルインクルージョンの理念と現代社会	事前学習	教科書 pp. 224～240 を読み、社精神障害者と現代社会について調べる。
		事後学習	教科書 pp. 224～240 を読み、精神障害者と現代社会に関する国試過去問を解いて理解を深める。
第15回	まとめ	事前学習	これまでの学習内容について配布資料やノート等を見直し、理解不足な点がないか調べる。
		事後学習	これまでの学習内容について配布資料やノート等を見直し、理解不足な点がないか確認する。
期末試験			